

(2)

Cent Kvindek Tagoj

La Centro de Oomoto en Kameoka konsistis el kvin domblokoj aparte starantaj; ili estis ligitaj de trapasejoj(1), kiuj ebligis atingi ĉiun konstruaĵon sen eliri eksteren. Fakte la tuta komplekso similis labirinton(2). Sed sufiĉis koni Esperanton, por eviti erarvagadon. Al ĉiu celo mi povis trafi, sekvante skribajn indikilojn en la japana kaj Esperanta lingvoj. Tiamaniere kiel novulo mi facile trovis la banejon, kie okulfrapis dulingvaj instruoj: Estas kutimo ne enporti bantukon en la banejon(3). Estas kutimo ne eniri banejon, kiam stabano purigas ĝin, ktp. Ili estis laŭvortaj tradukoj de la apudaj japanlingvaj frazoj. En Eŭropo tiujn estas kutimo anstataŭus estas malpermesite(4). Ĉe enirejoj mi legis ŝildon: Oni petas bonvole demetu ŝuojn. Jen kulturaj diferencoj. (『Rakontoj el Oomoto』 p7~)

150日(その2)

亀岡の大本本部は、5つの独立した建物から成り立っていますが、通路でつながっており、建物の外に出なくても、行き来する事が出来ます。実際のところ、複合体の建物は迷宮に似ています。しかし、エスペラントを知っていれば大丈夫です。道に迷う事はありません。日本語とエスペラントの標識をたよりに、迷う事なく目的地に行く事が出来ます。そのようにして、新参者の私は、お風呂にも容易に行く事が出来ます。大浴場でも2つの言語による案内が目にとまります。「浴槽にタオルを浸けない事が習慣です。」「スタッフが掃除をしている時、風呂場に入らない事が習慣です。」等。これらの案内は、横に書かれている日本語の、文字通りの直訳です。ヨーロッパでは、これらの「習慣です」は「禁止です」に替えられるでしょう。お風呂の入り口にも「靴を脱ぐ事がお願いされています」との縦型の看板が見られます。まさに文化の違いが見られます。

【語句】 konsistis el ~から成り立っている。 dombloko domo + bloko =家のかたまり、ブロック aparte 別個に staranta 立っている ligi 結ぶ、束縛する trapasejo 通路 labirinto 迷宮 erarvagado 道に迷って歩くこと trafi 命中する indikilo 標識 indiki 指し示す、指摘する okulfrapi 目につく okulo + frapi (打つ、たたく、ノックする) apuda かたわらの anstataŭi ~の代わりをする、代行する ŝildo 盾、縦型の看板

【解説】 前回の「大本物語」冒頭では、日本人の大好きな共同風呂をユーモラスに紹介する事によって、日本文化の日常を見事に描写していましたね。今回は、そのお風呂場の案内文の内容によって、日本文化とヨーロッパ文化との比較を試みています。日本の事は詳しく知らないが、日本について興味をもつ外国人にとって、もう少し読みたいと思わせる内容と思いませんか？

(1) de をみたら、いつも「~の」と思っではダメです。
Ili (kvin domblokoj) estas ligitaj de trapasejoj.
5つの独立した建物は通路によってつながっている。
受け身の行為者、~によって

〈例文〉 Ŝi estis amata de ĉiuj. 彼女は皆に愛されていた。
Mia domo disfalis de tertremo. 私の家は地震によって崩壊した。

(2) Fakte la tuta komplekso similis labirinton.
実際のところ、複合体の建物は迷宮に似ている。

さて、~に似ているは、自動詞で simili al ~
それでは、ここの similis labirinton は間違いか？個人的な意見では間違いだと思います(笑)が、自動詞の前置詞を省略して、後ろの名詞に -n をつけることができます。(前置詞省略の対格)これについては、本誌、「エスペラント文法の考察」で今後、詳しく取り上げます。

(3) Estas kutimo ne enporti bantukon en la banejon.
風呂場に手ぬぐいを持って入らない事が習慣です。

ここは、banejon (風呂場) にではなく、bankuvon (湯槽) にの間違いでしょう。日本訳もそのように訳しました。

(4) En Eŭropo tiujn estas kutimo anstataŭus estas malpermesite.
ヨーロッパでは、これらの「習慣です」は「禁止です」に替えられるでしょう。

まず、anstataŭi は~の代わりをする、代行する
他動詞で後ろに目的をとる。anstataŭus は~の代わりをするであろう。

〈例文〉 Mi anstataŭas la prezidanton dum lia foresto.
会長の不在中、私がおの代行をつとめています。
Nenio anstataŭas la sanon.
健康に替わるものは何もないのです。

ここでは、estas kutimo と estas permesite を比較しています。それぞれを1語と考え、「禁止です」が「習慣です」にとって替わる、となります。

anstataŭus の目的語が前に出ていますが、estas kutimo に -n をつけられないので、tiujn を前につけて目的語であることを表しています。